

# 2020年度 研究、教育、社会·学会活動報告書

# 1. 研 究 (本年度のみ)

1 · H/I	九(千十尺・フ・ア)					
ふりがな	さとう けんじ					
教員氏名	佐藤 健司		職位	教授	学位	修士(商学)
アルファベット表記	Kenji Sato					
	専門分野 経営学、経営管:			源管理論		
	テーマ	「モチベーション	/の理論運用	の再構築」		
研究課題	概要	モチベーション 大きな動機づける が提唱されてきた ないかもしくはそ ション理論を実際 のかということに	こなりうる。 こが、職場の E曲して使わ 祭に適切に運	これまで、数 現実を見た場れている場合。 用するにはどの	多くのモチ 合、それら がある。そ	が活用されてい こで、モチベー
	研究費	総額: 150,0 内訳:個人研究費 その他	費 150,000 也		研究費	円 円
本年度	研究テーマ	「日本企業における健全な働き方の研究」				
研究業績	経過と到達点	日本企業においては、長時間労働やパワハラといった問題が顕在している。本研究では、その問題の原因の1つが、とりわけメンバシップ型雇用に基づいていると仮定し、メンバーシップ型雇用の分と新たな働き方の方向性の1つとして考えられるジョブ型雇用の分を行った。				

### (1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月	単·共著	発表雑誌等	HII TH
	m 人 寺 の 名	(西曆)	の別	<b>光衣</b> 粧 <del>心寸</del>	概要
①英文査読					
論文					
②和文査読					
論文					
③英文論文					



④和文論文「日本企業における人間関係―メ						
④和文論文ンバーシップ型 雇用とジョブ型 雇用の視点から 一」予定)る働き方の問題点を、日本企業 に特徴的であると考えられて いる職場の人間関係を基軸に 分析が行われている。⑤紀要論文⑥紀要研究 ノート、専門 誌記事等「日本における従 業員の働きがい についての現 状」京都経済短期大学 経営・情報学会本報告では、日本における従 業員の働きがいを国際比較の 視点から分析し、働き方のどの 点に留意すれば、より働きがい を感じるのかということにつ		「日本企業におけ	2021年3	単	『同志社商学』	本稿では、長時間労働やパワ
④和文論文       雇用とジョブ型 雇用の視点から 一」       に特徴的であると考えられている職場の人間関係を基軸に分析が行われている。         ⑤紀要論文       ⑥紀要研究 ノート、専門 誌記事等       「日本における従業員の働きがいについての現 は、 日本における従業員の働きがいを国際比較の視点から分析し、働き方のどの点に留意すれば、 より働きがいを感じるのかということにつ		る人間関係一メ	月(刊行		第 72 巻第 5 号	ハラといった日本企業におけ
雇用とジョブ型 雇用の視点から 一」 に特徴的であると考えられて いる職場の人間関係を基軸に 分析が行われている。  ⑤紀要研究 ノート、専門 誌記事等	<b>○</b> 手□ 士◆◆ 士	ンバーシップ型	予定)			る働き方の問題点を、日本企業
⑤紀要論文       分析が行われている。         ⑥紀要研究 ノート、専門 誌記事等       プ学会での 口頭発表、計 論者(ディスカッサント)       「日本における従業員の働きがいについての現状」       京都経済短期大学経営・情報学会       本報告では、日本における従業員の働きがいを国際比較の視点から分析し、働き方のどの点に留意すれば、より働きがいを感じるのかということにつ	40 和 人 論 又	雇用とジョブ型				に特徴的であると考えられて
⑤紀要論文       ⑥紀要研究       ノート、専門         記記事等       「日本における従 学会での 口頭発表、討 論者 (ディス カッサント)       2020 年 業員の働きがい についての現 状」       単独 9月3日       京都経済短期大学 経営・情報学会       本報告では、日本における従 業員の働きがいを国際比較の 視点から分析し、働き方のどの 点に留意すれば、より働きがい を感じるのかということにつ		雇用の視点から				いる職場の人間関係を基軸に
⑥紀要研究 ノート、専門 誌記事等       プラムでの 口頭発表、討 論者 (ディス カッサント)       「日本における従 業員の働きがい についての現 状」       2020 年 9月3日       単独 案員の働きがい を図じるのかということにつ       京都経済短期大学 経営・情報学会       本報告では、日本における従 業員の働きがいを国際比較の 視点から分析し、働き方のどの 点に留意すれば、より働きがい を感じるのかということにつ		<b>—</b> J				分析が行われている。
ノート、専門       誌記事等       「日本における従	⑤紀要論文					
誌記事等	⑥紀要研究					
⑦学会での 口頭発表、討論者(ディスカッサント)「日本における従 業員の働きがい についての現状」単独京都経済短期大学 経営・情報学会本報告では、日本における従 業員の働きがいを国際比較の 視点から分析し、働き方のどの 点に留意すれば、より働きがい を感じるのかということにつ	ノート、専門					
①学会での 口頭発表、討 論者 (ディス カッサント)       業員の働きがいを国際比較の についての現 状」         ※対の働きがいを国際比較の 視点から分析し、働き方のどの 点に留意すれば、より働きがい を感じるのかということにつ	誌記事等					
工頭発表、計   業員の働きがい   9月3日   経営・情報学会   業員の働きがいを国際比較の   視点から分析し、働き方のどの   点に留意すれば、より働きがいを感じるのかということにつ	の学会なの	「日本における従	2020年	単独	京都経済短期大学	本報告では、日本における従
論者(ディス カッサント)   ボ」   視点から分析し、働き方のどの 点に留意すれば、より働きがい を感じるのかということにつ		業員の働きがい	9月3日		経営・情報学会	業員の働きがいを国際比較の
カッサント)   状] 点に留意すれば、より働きがいを感じるのかということにつ		についての現				視点から分析し、働き方のどの
を感じるのかということにつ		状」				点に留意すれば、より働きがい
. (4-4-5-5	カッテント)					を感じるのかということにつ
いて考察した。						いて考察した。

# (2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・				
共訳書				
⑨単著書・				
単訳書				

## (3) 外部研究資金獲得 (競争的資金獲得)

	研究テーマ	期間年月	研究項目の名称	概要
	(代表研究者名)	(西暦)	(文科省科研費等)	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
⑩共同研究				
(研究代表)				
①単独研究				
12共同研究				
(分担研究)				
	「職場の労働情況の	2021年4	文科省科研費	現代の職場を見た場合、長時間労
(3)科学研究	改善につながるモ	月~2024		働やパワハラといった様々な問題
助成事業(日	チベーションの理	年3月(申		が顕在化している。こうした情況を
本学術振興 会)申請	論運用の再構築」	請期間:3		改善するためには、実際にモチベー
		年間)		ション理論をどのように運用する
				のかということについて明らかに
				することが、本研究の目的である。



# 2. 教 育 (本年度のみ)

		前期	後期			
		科目名	科目名			
担当科目	講義	経営学総論・人的資源管理論・経営英	経営管理論・マネジメント史・経営講			
1旦 377 日	<b>神我</b>	書講読Ⅱ	読 I			
	演習	基礎ゼミ・ゼミⅡ	ゼミⅠ・ゼミⅢ			
	実習					
	◆講義	科目 今年度は、特にオンライン講義にお	おいて、学生の科目に対する興味・関心			
	が持続し、そこから学生が主体的に経営学を学んでいく環境をいかにつくっていくかと					
	いう点を重視した。また、講義内で活用しているアクティブ・ラーニングに関する取り					
	組みを	どのように促していくのかということにつ	ついても多様な工夫を試みた。			
<b>业</b> 本中宏,十进	◆演習科目 今年度は、前期における基礎ゼミおよびゼミがオンライン講義で行われた					
教育内容・方法	ため、	対面式では実施していない新たな方法を討	式みた。その際、特に留意した点は、コ			
の工夫	ミュニケーションの機会を、例年以上に増やしたことである。各ゼミで行われる活動の					
	基盤は	コミュニケーションにあると考え、実施し	した結果、一定の成果を収めた。			
	実習科	目				
	♦ そ(	の他(教科書・教材等の作成を含む。)				

## (1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	



# 3. 社会・学会活動(本年度のみ)

### (1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長·座長 国·国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

## (2) 学術団体の理事(日本学術会議協力学術研究団体)

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	・労務理論学会理事(第 10 期理事[2018,7 月~2021,6 月])

#### (3) 講演会

. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学	
会座長	

### 4. 特記事項(本年度のみ)